

# 「太閤堤跡歴史公園」 予算 削除

市議会 9月定例会 共産・自民・公明が共同提案

## 宇治市議会 9月定例会補正予算から削除

10月15日、定例会最終日、日本共産党宇治市会議員団と自民・公明は共同で補正予算の修正案を提案。「(仮称)太閤堤跡歴史公園整備運営事業」に係る25億6000万円の「債務負担行為\*の設定」を削除する修正案が賛成多数で可決されました。

\*「債務負担行為」とは将来の支出を決めておくこと。補正予算額に25億6000万円は含まれていません。

## 80億円の巨額事業に、市民から批判

この整備運営事業は、2007年に、国史跡太閤堤跡(菟道丸山・宇治乙方等)が発見されたのをきっかけに、遺跡保存だけでなく、「観光宇治の新たな拠点」として整備しようというものです。用地取得費・工事費などの初期投資に80億円、15年間の施設の維持管理・運営費に24億円を投入する巨額事業です。巨額の費用支出に、市民から批判の声が上がっていました。

## 公共事業を民間企業に丸投げ

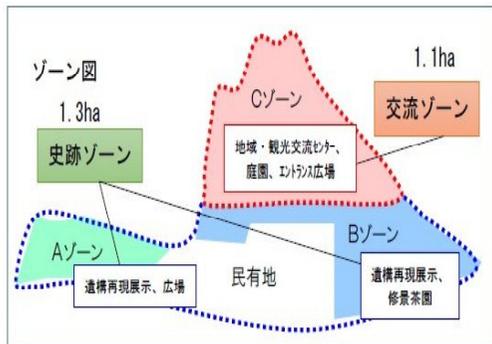
この事業を、民間企業に任せるために、PFI事業として実施することを9月7日に市は決定しました。PFI事業というのは、公共の事業を企画から工事、施設の管理運営まですべてを民間企業に任せるやり方です。公共工事への民間企業の事業拡大を狙ったもので、公益性も担保されず、各地でPFI事業の破綻が起っています。

## 市長の責任は重大

予算の具体的な内容が明確でなく、本会議で党議員団の質疑に対しても、市は、説明を拒否する態度に終始しました。予算の根拠も説明されず、公民館機能の移転など公益性の担保も確認できず、市民の理解が深まっていないとして、予算の削除の修正案が、19人対8人の賛成多数で可決されました。市民の声をきかず、整備事業を強行しようとした市長の責任が問われます。

## 教育・福祉充実の予算に

市民要求を反映した市政を一緒につくっていきましょう。



(歴史公園ゾーン図 市資料)  
(裏面にイメージ図)

	史跡ゾーン 1.3ha	交流ゾーン 1.1ha
設計	市	PFI事業*
建設	市	PFI事業
維持管理	PFI事業	PFI事業
運営	PFI事業	PFI事業

\* PFI事業：交流ゾーンの設計・建設・維持管理・運営、史跡ゾーンの維持管理・運営を民間企業に20年間、25.6億円で丸投げするというもの。

日本共産党宇治市会議員団 2015年  
団だより 10月号外  
tel:20-8749 fax24-7884

「安保法」の廃止を求める意見書 可決 (裏面参照)